

ここにひまわりを...
広報誌 第103号
ひまわり

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行
 0978-52-2233 0978-66-550
 杵築市 ひまわり 検索
<http://www.wel-himawari>

社会福祉法人ひまわり理念
 ・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
 ・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針
 ・利用者があるがままの姿を受け入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
 ・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
 ・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
 ・社会で通用する接遇を修得し、利用者に明るく気持ちの良い態度で接します
 ・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

第6回大田福祉祭り開催しました！



10月31日に「第6回大田福祉祭り」を開催しました。当日は一時雨の予報もありましたが、実行委員の祈りが通じたのか、さわやかな秋空のもと行う事が出来ました。立石こども園の児童たちの鼓笛や俣水神楽保存会による神楽、マカラプア教室によるフラダンス、演歌歌手国広なおさんによる歌謡ショーに場内は大変盛況でした。またJAやまがさん、楽四季舎さん、ニューメデイカルフーズさんによる食品の販売。日産さんの福祉車両の展示、杵築速見消防組合による救急車・消防車の展示、大分エンゼルさんによるセニアカ等の福祉用具の展示。そして大分県栄養士会による栄養相談会等のブースもあり、大変好評でした。当日実施したバザーの売上金14,725円を東日本大震災に係る義援金として日本赤十字社大分県支部に寄付致しました。大変多くの方のご来場誠にありがとうございました。また来年もよろしくお願ひ致します。

小規模老人保健施設 ゆすら



小規模老人保健施設ゆすらの建築工事ですが雨も降らず順調に進んでいます。「安心して下さい。打つてます！」もちろん杭の話です。年内には鉄骨の組み立てまで完了する予定です。急いで丁寧な、そして安全第一でお願い致します！

瑞雲荘



北海道在住の松田麗子様よりお菓子をいただきました。皆様な北海道産の美味しいお菓子に舌鼓を打たれていました。松田麗子様から毎年お菓子をいただきありがとうございます。

訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種について

肺炎は日本人の死因の第3位で、そのうち約95%の方が65歳以上です。平成26年10月から「肺炎球菌ワクチン」による、高齢者の肺炎球菌感染症の定期接種の制度が始まりました。健康状態によりますがワクチンの抗体は5年以上持続するといわれており、再接種は可能ですが何回受けなければいけないという決まりはありません。5年以上の間隔をあげ摂取して下さい。まずはかかりつけ医に相談して下さい。

肺炎球菌ワクチンの定期接種の対象者は平成28年度から平成30年度までの間は、65、70、75、80、85、90、95、100歳の誕生日を迎える方ですが、平成31年度からは、接種日当日に65歳である方が対象となります。

今宮

毎月二〇日発行 編集責任者 社会福祉法人ひまわり 高尾毅一

編集後記

冬かっ！？秋かっ！？日によつてはまだ夏かっ！？と毎日天気は突っ込みを入れなくなる毎日ですが皆さま如何お過ごしでしょうか？風邪などひかれてないでしょうか？さて、今年のニュースを振り返ってみると〇〇周年のニュースが印象的でした。戦後70年、阪神淡路大震災から20年、高校野球100周年等です。特に阪神淡路大震災は当時21歳でしたので大変印象に残っています。当たり前と思ってる事が実は当たり前でない。自分の過さ日常は案外もろいモノなのだとしヨックを受けました。あの当時は地下鉄サリン事件もあり、特にその思いを強くしたことを覚えてます。個人的には病気をよくした一年となりました。もう人生も折り返しを過ぎてます。当たり前の健康など無く、健康は努力しなければ手に入らないと痛感した一年となりました。またこの広報誌も無事に100号を数える事ができ、皆様のご愛読に感謝する一年となりました。皆様にとつてこの2015年はどんな一年でしたか？

高尾

12月の福祉サービスマン相談委員巡回は12月19日(土)の10時よりきつきの里デイサービスにて相本相談員が行います。事前の連絡は必要ございませんのでお気軽にご相談下さい。

三楽園デイサービス

運動会

三楽園でも運動会を行いました。今年はマジックハンドで飴を取る競技と、車いすに乗りパン喰い競争ならぬ菓子喰い競争でした。

特に菓子喰い競争は、車いすに乗るのが初めてという方も居られた為、利用者様は「出来るかな」と不安そうな様子でしたが、一旦操作方法を覚えると初めてとは思えない程の速さでお菓子までまっしぐらでした。菓子がなかなか取れずについつい手が出てしまう事もありましたが、まわりの皆さんの応援もあり無事にとる事が出来ました。最後は恒例、職員による飴くい競争。途中で炭坑節が流れてくると、粉で真っ白になった顔でコミカルに踊る姿に大爆笑。今年も皆さんと職員、力強く全力で楽しく競技することができました。



第二次花飾りブーム

3年程前に花飾りの制作が三楽園利用者様方の中で大ブームとなりました。しかし時が流れ、そのブームも下火となっていました。最近ブームが再燃しております。

今回は前回のブーム時よりかなり難しい折り方、組み立て方です。しかし、その綺麗さ、可愛さに魅了され、取り組まれる利用者様が多くなりました。作り方がお知りになりました。い方は三楽園までお問い合わせいただくか気軽にお越しください。また衛藤外科にも作品を置かせていただきますのでご覧ください。



現在の花飾り

3年前の花飾り

ひまわりハウス

避難訓練

11月1日に杵築市大内地区の避難訓練に参加しました。今回は南海トラフ地震の津波を想定した訓練で、杵築市防災無線からの「地震です」との放送で利用者様を車椅子のまま移動介助し避難する班と車に乗って避難する班に分かれて避難場所へ向かいました。避難場所は2ヶ所で第一避難場所は坂の途中、海拔8mの所にあり、ひまわりハウスからそこまでにかかった時間は10分、もう一カ所の避難場所である東大内山区集落センターまでは15分かかりました。

まだ時間短縮できるところはあったのではないかと反省は残りました。また、避難している途中、地域の方々から「ほら、もう少し頑張りましょう頑張り」と「長い坂道やけど頑張り」と声をかけあっている姿を何度も見かけし、地域の方々の助け合い、支え合いを感じました。



利用者の皆様は、「本当に地震が来たら恐ろしいな」「訓練つちわかっていただけから落ち着いていただけじゃけど」と言われていました。本当に地震が来たらきはやはり人手不足になると思います。そんな時こそ地域の助け合いが重要なのではないかと感じました。

今後も、地域の行事に参加し自分たちなりの反省点を見つけて改善し、より地域と共に成長できるひまわりハウスにしていきたいです。



地域交流（大内幼稚園）

11月10日に地域交流の一環として大内幼稚園の皆さんが来てくださいました。園児は年少さん5名と年長さん5名、引率の先生方3名の計13名です。

まずは園児の皆さんと利用者様の自己紹介からスタートし、その後、園児の皆さんによる手話を交えた童謡「証城寺の

ききぎの里デイサービス

10月21日に地震を想定した避難訓練を実施しました。玄関前に数台の車を並べて職員の誘導で玄関に集合して次々に車に乗り込みました。が玄関で待っている間に「こげえ待っちゃう間にほんとじゃった津波にのみ込まれちゃうでな」と不安な表情に話す方もいました。全員が安全に車に乗り込んでから今回の避難場所に決めた灘手の高



第51回県美展見学

杵築市文化体育館で県美展の巡回展が開催され見学に出掛けました。大きいサイズの作品ばかりで、「よう描いちよるなあ」「色がいいなあ」等、感嘆の言葉があがっていました。利用者様には各々に感銘を受けた絵があったようで良い刺激を受けたようでした。

